

#### 2022年3月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)

(氏名) 山元 文明

2021年11月12日

上場会社名 株式会社 四国銀行

上場取引所

東

コード番号 8387 URL https://www.shikokubank.co.jp/

(役職名) 取締役頭取

5) 以締役與以

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 門田 健 TEL 088-823-2111

四半期報告書提出予定日 2021年11月15日 配当支払開始予定日 2021年12月3日

特定取引勘定設置の有無無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

代表者

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収	<b>ໄ</b> 益	経常和	J益	親会社株主に帰属	する中間純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期中間期	20,346	0.2	5,623	41.6	3,859	39.8
2021年3月期中間期	20,302	2.9	3,971	8.9	2,759	16.4

(注)包括利益 2022年3月期中間期 5,275百万円 ( 55.5%) 2021年3月期中間期 11,867百万円 (125.0%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純 利益
	円銭	円銭
2022年3月期中間期	92.84	92.70
2021年3月期中間期	64.93	64.81

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期中間期	3,412,260	163,030	4.7
2021年3月期	3,330,943	158,537	4.7

(参考)自己資本

2022年3月期中間期 162,825百万円

2021年3月期 158,325百万円

#### 2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭		
2021年3月期		15.00		15.00	30.00		
2022年3月期		15.00					
2022年3月期(予想)				15.00	30.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

#### 3. 2022年 3月期の連結業績予想(2021年 4月 1日~2022年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	1.2	9,300	1.9	6,100	8.1	146.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

<sup>(</sup>注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

#### 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料 $P.8^{5}$ 2.中間連結財務諸表及び主な注記 (5)会計方針の変更」をご覧 $\langle$ ださN。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

2022年3月期中間期	42,900,000 株	2021年3月期	42,900,000 株
2022年3月期中間期	1,295,203 株	2021年3月期	1,352,825 株
2022年3月期中間期	41,564,514 株	2021年3月期中間期	42,491,671 株

#### (個別業績の概要)

1. 2022年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

#### (1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収	は益	経常和	J益	中間純	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期中間期	20,515	0.1	5,581	40.1	3,924	36.3
2021年3月期中間期	20,486	2.6	3,983	9.2	2,877	15.5

	1株当たり中間純利益	
		円銭
2022年3月期中間期		94.14
2021年3月期中間期		67.52

#### (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期中間期	3,407,956	157,017	4.6
2021年3月期	3,326,734	152,401	4.5

(参考)自己資本

2022年3月期中間期 156,948百万円

2021年3月期 152,324百万円

- (注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。 なお、本「自己資本比率」は自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。
- 2. 2022年 3月期の個別業績予想(2021年 4月 1日~2022年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収	は益	経常和	J益	当期純	利益	1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,100	0.9	9,100	0.7	6,000	8.0	143.86

中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。
- 2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、 当行としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

#### ○添付資料の目次

		頁
1. 当中間決算に関する定性的情報	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報		2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記		3
(1) 中間連結貸借対照表	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書		4
中間連結損益計算書		4
中間連結包括利益計算書	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	5
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	6
(4)継続企業の前提に関する注記	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	8
(5) 会計方針の変更	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	8
(6)追加情報		8
3. 中間財務諸表		9
(1)中間貸借対照表	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	9
(2) 中間損益計算書		11
(3) 中間株主資本等変動計算書		12

≪2022年3月期第2四半期(中間期)決算説明資料≫

#### 1. 当中間決算に関する定性的情報

#### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間期の連結経営成績は、以下のとおりとなりました。

経常収益は、償却債権取立益や株式等売却益は減少しましたが、有価証券利息配当金や役務取引等収益の増加等により、前年同期比44百万円増加し203億46百万円となりました。経常費用は、営業経費や貸倒引当金繰入額の減少等により、前年同期比16億8百万円減少し147億22百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比16億52百万円増加し56億23百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同11億円増加し38億59百万円となりました。

#### (2)連結財政状態に関する定性的情報

主要勘定につきましては、預金は、個人預金、法人預金及び地方公共団体預金がそれぞれ増加し、前年度末比686億円増加し2兆9,161億円となりました。また譲渡性預金を含めた預金等は、前年度末比824億円増加し2兆9,868億円となりました。貸出金は、地方公共団体向け貸出金や大・中堅企業向け貸出金は減少しましたが、中小企業等貸出金の増加等により、前年度末比12億円増加し1兆8,783億円となりました。有価証券は、国債の売却等により、前年度末比129億円減少し9,543億円となりました。

当中間期末の連結自己資本比率(国内基準)につきましては、前年度末比0.06ポイント上昇し、9.17%となりました。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

2022年3月期通期の業績予想につきましては、当中間期の業績等を踏まえ、経常収益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を下記のとおり上方修正いたします。

2022年3月期通期の連結業績予想の修正

(単位:百万円)

(単位:百万円)

		経常収益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
前回公表予想	(A)	38, 700	8, 100	5, 100
今回修正予想	(B)	41, 000	9, 300	6, 100
増減額	(B-A)	2, 300	1, 200	1,000

#### くご参考>

2022年3月期通期の個別業績予想の修正

		経常収益	経常利益	当期純利益
前回公表予想	(A)	38, 700	7, 800	5, 000
今回修正予想	(B)	41, 100	9, 100	6, 000
増減額	(B-A)	2, 400	1, 300	1,000

#### 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 中間連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当中間連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
現金預け金	335, 619	457, 074
買入金銭債権	12, 402	10, 530
商品有価証券	8	16
金銭の信託	1, 964	2,080
有価証券	967, 291	954, 309
貸出金	1, 877, 078	1, 878, 316
外国為替	9, 891	11, 355
その他資産	95, 395	66, 080
有形固定資産	35, 453	35, 136
無形固定資産	1, 962	2, 166
退職給付に係る資産	2, 440	2, 661
繰延税金資産	18	18
支払承諾見返	5, 403	6,079
貸倒引当金	△13, 985	$\triangle 13,564$
資産の部合計	3, 330, 943	3, 412, 260
負債の部		
預金	2, 847, 488	2, 916, 162
譲渡性預金	56, 888	70, 654
コールマネー及び売渡手形	18, 820	7,050
債券貸借取引受入担保金	61, 636	61, 369
借用金	133, 702	138, 748
外国為替	20	56
その他負債	38, 315	36, 980
退職給付に係る負債	75	75
役員退職慰労引当金	5	4
睡眠預金払戻損失引当金	665	534
ポイント引当金	65	
繰延税金負債	5, 110	7, 319
再評価に係る繰延税金負債	4, 205	4, 193
支払承諾	5, 403	6, 079
負債の部合計	3, 172, 405	3, 249, 229
純資産の部		· ·
資本金	25, 000	25,000
資本剰余金	9, 699	9, 699
利益剰余金	93, 369	96, 429
自己株式	△1, 518	$\triangle 1,465$
株主資本合計	126, 551	129, 663
その他有価証券評価差額金	26, 858	28, 488
繰延ヘッジ損益	△3, 770	△3, 989
土地再評価差額金	8, 785	8, 758
退職給付に係る調整累計額	△99	△95
その他の包括利益累計額合計	31,774	33, 161
新株予約権	77	69
非支配株主持分	135	135
純資産の部合計	158, 537	163, 030
神貴座の部合計 負債及び純資産の部合計		
只貝及り、肥貝座の司口司	3, 330, 943	3, 412, 260

#### (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年0月20日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年0月20日)
経常収益	至 2020年9月30日) 20,302	至 2021年9月30日) 20,346
資金運用収益	14, 004	14, 331
(うち貸出金利息)	9,834	9, 519
(うち有価証券利息配当金)	4, 082	4, 694
<b>役務取引等収益</b>	3, 483	4,000
その他業務収益	357	648
その他経常収益	2, 457	1, 366
経常費用	16, 330	14, 722
資金調達費用	813	552
(うち預金利息)	184	127
役務取引等費用	1, 177	1, 177
その他業務費用	987	929
営業経費	12, 124	11, 453
その他経常費用	1, 226	609
経常利益	3, 971	5, 623
特別利益	108	18
固定資産処分益	108	18
特別損失	17	25
固定資産処分損	14	13
減損損失	2	11
税金等調整前中間純利益	4, 062	5, 617
法人税、住民税及び事業税	1, 056	215
法人税等調整額	244	1,540
法人税等合計	1,301	1,756
中間純利益	2, 761	3,860
非支配株主に帰属する中間純利益	2	1
親会社株主に帰属する中間純利益	2,759	3, 859

#### 中間連結包括利益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
中間純利益	2, 761	3, 860
その他の包括利益	9, 106	1, 414
その他有価証券評価差額金	8, 404	1,681
繰延ヘッジ損益	436	△219
退職給付に係る調整額	119	3
持分法適用会社に対する持分相当額	145	△51
中間包括利益	11, 867	5, 275
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	11, 865	5, 273
非支配株主に係る中間包括利益	2	1

#### (3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

			株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	25, 000	9, 699	87, 811	△891	121, 619
当中間期変動額					
剰余金の配当			△638		△638
親会社株主に帰属する 中間純利益			2, 759		2, 759
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分			△43	97	53
土地再評価差額金の取崩			83		83
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	_	_	2, 159	97	2, 256
当中間期末残高	25, 000	9, 699	89, 971	△794	123, 876

		その作	他の包括利益界	<b></b> 計額				
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
当期首残高	14, 413	△5, 618	9, 024	△1,670	16, 149	100	133	138, 003
当中間期変動額								
剰余金の配当								△638
親会社株主に帰属する 中間純利益								2, 759
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								53
土地再評価差額金の取崩								83
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	8, 550	436	△83	119	9, 022	△22	1	9, 001
当中間期変動額合計	8, 550	436	△83	119	9, 022	△22	1	11, 258
当中間期末残高	22, 964	△5, 182	8, 941	△1,551	25, 172	77	135	149, 261

当中間連結会計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

			株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	25, 000	9, 699	93, 369	△1,518	126, 551
会計方針の変更による 累積的影響額			△192		△192
会計方針の変更を反映した 当期首残高	25, 000	9, 699	93, 177	△1,518	126, 358
当中間期変動額					
剰余金の配当			△625		△625
親会社株主に帰属する 中間純利益			3, 859		3, 859
自己株式の取得				$\triangle 0$	△0
自己株式の処分			△9	53	44
土地再評価差額金の取崩			26		26
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	_	_	3, 251	52	3, 304
当中間期末残高	25, 000	9, 699	96, 429	△1, 465	129, 663

		その作	也の包括利益累	<b></b> 計額				
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
当期首残高	26, 858	△3,770	8, 785	△99	31, 774	77	135	158, 537
会計方針の変更による 累積的影響額								△192
会計方針の変更を反映した 当期首残高	26, 858	△3,770	8, 785	△99	31, 774	77	135	158, 345
当中間期変動額								
剰余金の配当								△625
親会社株主に帰属する 中間純利益								3, 859
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								44
土地再評価差額金の取崩								26
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	1, 629	△219	△26	3	1, 387	△7	0	1, 380
当中間期変動額合計	1, 629	△219	△26	3	1, 387	△7	0	4, 685
当中間期末残高	28, 488	△3, 989	8, 758	△95	33, 161	69	135	163, 030

#### (4)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。

#### (5) 会計方針の変更

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、役務取引等収益の一部(債券の事務受託手数料、クレジットカードの年会費等)は、従来、対価の受取時に収益を認識しておりましたが、履行義務が一定期間にわたり充足されるものであるため、経過期間に基づき収益を認識する方法に変更しております。

また、当行が提供しているクレジットカードのポイントプログラムは、従来、付与したポイントの利用による費用負担に備えるため、将来利用される見込額を合理的に見積り、必要と認める額をポイント引当金として計上しておりましたが、付与したポイントのうち将来利用される見込額は、第三者のために回収する額として認識し、役務取引等収益(クレジット加盟店手数料)より控除する方法に変更しております。これにより、ポイント引当金は、当中間連結会計期間より計上しておりません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当中間連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当中間連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当中間連結会計期間の経常収益が24百万円減少、経常費用が31百万円減少、経常利益及 び税金等調整前中間純利益がそれぞれ6百万円増加しております。また、当期首残高のその他負債が 341百万円増加、ポイント引当金が65百万円減少、繰延税金負債が84百万円減少、利益剰余金が192百 万円減少しております。

#### (時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる当中間連結財務諸表に与える影響はありません。

#### (6)追加情報

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、 前連結会計年度の有価証券報告書の「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項 (重要な会計上の見積り)」に記載した内容から重要な変更はありません。

#### 3. 中間財務諸表

#### (1) 中間貸借対照表

		(単位:百万円)
	前事業年度 (2021年3月31日)	当中間会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
現金預け金	335, 619	457, 074
買入金銭債権	12, 402	10, 530
商品有価証券	8	16
金銭の信託	1, 964	2,080
有価証券	962, 585	949, 591
貸出金	1, 876, 629	1, 877, 929
外国為替	9, 891	11, 355
その他資産	95, 388	66, 076
その他の資産	95, 388	66, 076
有形固定資産	35, 291	34, 977
無形固定資産	1, 958	2, 160
前払年金費用	2,871	3,016
支払承諾見返	5, 403	6,079
貸倒引当金	△13, 279	△12, 930
資産の部合計	3, 326, 734	3, 407, 956
負債の部		
預金	2, 848, 971	2, 917, 565
譲渡性預金	58, 888	72,654
コールマネー	18, 820	7,050
債券貸借取引受入担保金	61, 636	61, 369
借用金	133, 702	138, 748
外国為替	20	56
その他負債	36, 660	35, 277
未払法人税等	1, 593	210
リース債務	411	302
資産除去債務	144	144
その他の負債	34, 511	34, 620
退職給付引当金	288	217
睡眠預金払戻損失引当金	665	534
ポイント引当金	65	_
繰延税金負債	5, 002	7, 191
再評価に係る繰延税金負債	4, 205	4, 193
支払承諾	5, 403	6, 079
負債の部合計	3, 174, 332	3, 250, 938

10011		<del></del>	_		١
(単化	17	r	$\vdash$	Щ	п
(	1/.	$\Box$	/_/		1

	前事業年度 (2021年3月31日)	当中間会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
資本金	25, 000	25, 000
資本剰余金	6, 563	6, 563
資本準備金	6, 563	6, 563
利益剰余金	90, 820	93, 945
利益準備金	17, 849	17, 974
その他利益剰余金	72, 971	75, 971
別途積立金	60, 000	65, 000
繰越利益剰余金	12, 971	10, 971
自己株式	△1, 127	△1,074
株主資本合計	121, 256	124, 434
その他有価証券評価差額金	26, 052	27, 744
繰延ヘッジ損益	△3, 770	△3, 989
土地再評価差額金	8, 785	8, 758
評価・換算差額等合計	31, 067	32, 513
新株予約権	77	69
純資産の部合計	152, 401	157, 017
負債及び純資産の部合計	3, 326, 734	3, 407, 956

#### (2) 中間損益計算書

		(単位:百万円)
	前中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
経常収益	20, 486	20, 515
資金運用収益	14, 343	14, 669
(うち貸出金利息)	9, 831	9, 517
(うち有価証券利息配当金)	4, 424	5, 036
役務取引等収益	3, 373	3, 884
その他業務収益	357	648
その他経常収益	2, 412	1, 313
経常費用	16, 503	14, 933
資金調達費用	813	552
(うち預金利息)	184	127
役務取引等費用	1, 474	1, 452
その他業務費用	987	929
営業経費	12, 073	11, 396
その他経常費用	1, 153	601
経常利益	3, 983	5, 581
特別利益	108	18
特別損失	17	25
税引前中間純利益	4, 074	5, 575
法人税、住民税及び事業税	961	134
法人税等調整額	235	1, 516
法人税等合計	1, 197	1,650
中間純利益	2, 877	3, 924

#### (3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

				株主資本				
		資本東	制余金		利益剰余金			
	資本金		資本剰余金		その他利	益剰余金	利益剰余金	
		資本準備金		利益準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	合計	
当期首残高	25, 000	6, 563	6, 563	17, 593	60, 000	7, 785	85, 379	
当中間期変動額								
剰余金の配当						△638	△638	
中間純利益						2, 877	2, 877	
自己株式の取得								
自己株式の処分						△43	△43	
土地再評価差額金の取崩						83	83	
利益準備金の積立				127		△127	_	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)								
当中間期変動額合計		_	_	127		2, 150	2, 278	
当中間期末残高	25, 000	6, 563	6, 563	17, 721	60,000	9, 936	87, 657	

	株主	資本		評価・換	算差額等			
	自己株式	株主資本合計	その他有価証 券評価差額金		土地再評価差額金	評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産合計
当期首残高	△500	116, 442	14, 045	△5, 618	9, 024	17, 451	100	133, 993
当中間期変動額								
剰余金の配当		△638						△638
中間純利益		2, 877						2, 877
自己株式の取得	△0	△0						△0
自己株式の処分	97	53						53
土地再評価差額金の取崩		83						83
利益準備金の積立		_						_
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)			8, 302	436	△83	8, 655	△22	8, 632
当中間期変動額合計	97	2, 375	8, 302	436	△83	8, 655	△22	11,007
当中間期末残高	△403	118, 817	22, 347	△5, 182	8, 941	26, 106	77	145, 001

当中間会計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

				株主資本				
		資本剰余金			利益剰余金			
	資本金		資本剰余金		その他利	利益剰余金		
		資本準備金	合計	利益準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	合計	
当期首残高	25, 000	6, 563	6, 563	17, 849	60, 000	12, 971	90, 820	
会計方針の変更による 累積的影響額						△192	△192	
会計方針の変更を反映した 当期首残高	25, 000	6, 563	6, 563	17, 849	60,000	12, 779	90, 628	
当中間期変動額								
剰余金の配当						△625	△625	
中間純利益						3, 924	3, 924	
自己株式の取得								
自己株式の処分						△9	△9	
土地再評価差額金の取崩						26	26	
利益準備金の積立				125		△125	_	
別途積立金の積立					5, 000	△5,000	_	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)								
当中間期変動額合計		_	_	125	5, 000	△1,807	3, 317	
当中間期末残高	25, 000	6, 563	6, 563	17, 974	65, 000	10, 971	93, 945	

	株主	資本		評価・換	算差額等			
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産合計
当期首残高	△1, 127	121, 256	26, 052	△3, 770	8, 785	31, 067	77	152, 401
会計方針の変更による 累積的影響額		△192						△192
会計方針の変更を反映した 当期首残高	△1, 127	121, 064	26, 052	△3,770	8, 785	31, 067	77	152, 209
当中間期変動額								
剰余金の配当		△625						△625
中間純利益		3, 924						3, 924
自己株式の取得	△0	△0						△0
自己株式の処分	53	44						44
土地再評価差額金の取崩		26						26
利益準備金の積立		_						_
別途積立金の積立		_						_
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)			1, 692	△219	△26	1, 446	△7	1, 438
当中間期変動額合計	52	3, 370	1, 692	△219	△26	1, 446	△7	4, 808
当中間期末残高	△1,074	124, 434	27, 744	△3, 989	8, 758	32, 513	69	157, 017

# 2022年3月期第2四半期(中間期)決算説明資料

株式会社 四国銀行

## ≪2022年3月期第2四半期(中間期)決算説明資料≫

			頁
1. 2022年3月期第2四半期(中間期)決算の概念	兄	•••••	2
(1) 損益状況	単	•••••	2
	連	•••••	3
(2) 業務純益	単	•••••	4
(3) 利鞘	単	•••••	4
(4) 有価証券関係損益	単	•••••	4
(5) 有価証券の評価損益	単・連	•••••	5
① 有価証券の評価基準	単・連	•••••	5
② 評価損益	単・連	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	5
(6) 自己資本比率(国内基準)	単・連	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	6
(7) ROE	単	•••••	6
2. 貸出金等の状況		••••	7
(1) リスク管理債権の状況	単・連	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	7
(2) リスク管理債権の保全状況	単	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	7
(3)貸倒引当金の状況	単・連	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	8
(4) 金融再生法開示債権	単	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	8
(5) 金融再生法開示不良債権の保全状況	· 単		8
《参考》自己査定・金融再生法開示債権・リ	•	権の状況	
	単	•••••	9
(6) 業種別貸出状況等	単		10
① 業種別貸出金	単		10
② 業種別リスク管理債権	単		10
③ 個人ローン残高	単		11
④ 中小企業等貸出金	単	•••••	11
3. 預金等・貸出金・預り資産残高			11
(1)預金等・貸出金の残高	単		11
(2) 個人・法人等別預金残高	単	••••	11
(3)預り資産残高	単		12
(3) 預り貢産技商 ① 総額	単		12 12
② 個人	単		12
	于		14
4. 通期業績予想	単・連		12

#### ≪補足資料≫

2021年度中間決算の概要

1. 2022年3月期第2四半期(中間期)決算の概況

(1) 損益状況

【単体】 (単位:百万円)

【里体】		(単位:百万円)
	2021年中間期	2020年中間期
	2020年中間期比	
業 務 粗 利 益 1	16, 267 1, 469	14, 798
コア業務粗利益(注)1 2	16, 702 1, 257	15, 445
資 金 利 益 3	14, 117 587	13, 530
役務取引等利益4	2, 431 532	1, 899
その他業務利益 5	△ 281 349	△ 630
う ち 債 券 関 係 損 益 6	△ 434 212	△ 646
経費 (除く臨時処理分) (△) 7	11, 391 $\triangle$ 511	11, 902
人 件 費 (△) 8	5, 524 $\triangle$ 143	5, 667
物 件 費 (△) 9	5, 126 △ 355	5, 481
税 金 (△) 10	741 △ 12	753
実 質 業 務 純 益 (注)2 11	4, 876 1, 980	2, 896
コ ア 業 務 純 益 (注)3 12	5, 310 1, 767	3, 543
コア業務純益 (除く投資信託解約損益) 13	4, 635 1, 103	3, 532
一般貸倒引当金繰入額(△) 14	- △ 167	167
業 務 純 益 15	4, 876 2, 148	2, 728
臨 時 損 益 16	705 △ 549	1, 254
不 良 債 権 処 理 額 (△) 17	126 △ 308	434
貸 出 金 償 却 (△) 18	117 104	13
個別貸倒引当金純繰入額 (△) 19	- △ 356	356
その他(△)20	8 △ 56	64
貸 倒 引 当 金 戻 入 益 21	117 117	_
償 却 債 権 取 立 益   22	199 △ 469	668
株式等関係損益 23	19 △ 693	712
その他臨時損益   24	496 189	307
経 常 利 益 25	5, 581 1, 598	3, 983
特 別 損 益 26	△ 6 △ 97	91
固 定 資 産 処 分 損 益 27	5 △ 89	94
固 定 資 産 処 分 益 28	18 △ 90	108
	13 △ 1	14
減 損 損 失 (△) 30	11 9	2
税 引 前 中 間 純 利 益 31	5, 575 1, 501	4, 074
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 (△) 32	134 △ 827	961
法 人 税 等 調 整 額 (△) 33	1, 516 1, 281	235
法 人 税 等 合 計 (△) 34	1, 650 453	1, 197
中 間 純 利 益 35	3, 924 1, 047	2,877
与 信 関 係 費 用 (注)4 36	9 $\triangle$ 592	601
実質与信関係費用(注)5 37	△ 189 △ 123	△ 66

<sup>(</sup>注)1 (2)コア業務粗利益=(1)業務粗利益-(6)債券関係損益

<sup>(</sup>注)2 (11)実質業務純益=(1)業務粗利益-(7)経費(除く臨時処理分)

<sup>(</sup>注)3 (12)コア業務純益=(11)実質業務純益-(6)債券関係損益

<sup>(</sup>注) 4 (36) 与信関係費用=(14)一般貸倒引当金繰入額+(17)不良債権処理額-(21)貸倒引当金戻入益

<sup>(</sup>注) 5 (37) 実質与信関係費用=(36) 与信関係費用-(22) 償却債権取立益

【連結】

分

適

<連結損益計算書ベース> (単位:百万円) 2020年中間期 2021年中間期 2020年中間期比 連 結 粗 利 益 (注)1 1 16, 320 1, 455 14,865 利 金 益 2 13,778 588 13, 190 等 役 務 取 引 利 益 3 2,822 517 2,305 そ  $\mathcal{O}$ 他 業 務 利 益 4 349 △ 630 △ 281 業 経 費 5 12, 124 営  $(\triangle)$ 11,453 671  $\triangle$ 与. 関 用 信 係 費  $(\triangle)$ 6 48  $\triangle$ 626 674 刦 出 償 124 21 貸 金  $(\triangle)$ 7 103 当 個 別 貸 倒 引 金 繰 入 額  $(\triangle)$ 8 △ 430 430 般 貸 倒 引 当 金 繰 額 9 △ 158 158  $(\triangle)$ 他の そ 処 理 額  $\mathcal{O}$ 不良債権  $(\triangle)$ 10 8  $\triangle$  56 64 倒 当 貸 引 金 戻 益 11 85 85 却 償 債 権 取 立. 益 12 199 △ 469 668 株 式 関 係 損 益 13 19 △ 693 712 持 分 に ょ 投 法 る 資 利 益 14 81 41 40 そ  $\mathcal{O}$ 他 15 505 22 483 経 常 利 益 3,971 16 5,623 1,652 特 別 損 17 △ 97 益 91  $\triangle$  6 税 等 前中間 金 調整 純 利 益 18 5,617 1,555 4,062 住民税及び 事 業 税 法 税 19 △ 841 1,056  $(\triangle)$ 215 法 整 人 税 築 調 額  $(\triangle)$ 20 1,540 1, 296 244 法 税 合 計  $(\triangle)$ 21 1,756 455 1,301 中 間 純 利 益 22 3,860 1,099 2,761 支配株主に帰属する中間純利益 23  $(\triangle)$ 2  $\triangle$  1 1 親会社株主に帰属する中間純利益 24 3,859 1, 100 2,759 与 実 質 信 関 係 費 用 (注) 2 25 5  $\triangle$  151  $\triangle$  156

- (注)1 (1)連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用) + (その他業務収益ーその他業務費用)
- (注) 2 (25) 実質与信関係費用=(6)与信関係費用-(12) 償却債権取立益

(社) (連結対象会社数) 社 数 連 結 4 持 法 用 숲 社 数

1

(2)業務純益【単体】

(2)	業務純益【単体】			(単位:百万円)
		2021年中間期		2020年中間期
			2020年中間期比	
実	質 業 務 純 益	4, 876	1, 980	2, 896
	職員一人当たり(千円)	3, 711	1, 590	2, 121
業	務 純 益	4, 876	2, 148	2, 728
	職員一人当たり(千円)	3, 711	1,712	1, 999

#### (3) 利鞘【単体】

<全店> (単位:%)

				(1120)
		2021年中間期		2020年中間期
			2020年中間期比	
資	金 運 用 利 回 (A)	0.93	△ 0.05	0.98
	貸 出 金 利 回	1.01	△ 0.06	1.07
	有 価 証 券 利 回	1.09	0.04	1.05
資	金 調 達 原 価 (B)	0.73	△ 0.11	0.84
	預 金 等 利 回	0.00	△ 0.01	0.01
	外部負債利回	0.06	△ 0.26	0. 32
総	資 金 利 鞘(A)-(B)	0.20	0.06	0.14

<国内> (単位:%)

		2021年中間期		2020年中間期
			2020年中間期比	
資	金 運 用 利 回 (A)	0.84	△ 0.06	0. 90
	貸 出 金 利 回	1.02	△ 0.04	1.06
	有 価 証 券 利 回	1.01	0.09	0. 92
資	金 調 達 原 価 (B)	0.74	△ 0.10	0.84
	預 金 等 利 回	0.00	△ 0.01	0.01
	外 部 負 債 利 回	0.03	△ 0.03	0.06
総	資 金 利 鞘(A)-(B)	0.10	0.04	0.06

#### (4) 有価証券関係損益【単体】

却

損

却

売

償

(単位:百万円)

492

2

△ 491

448

	1.1 lbrd brr	7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					(単位・日カロ)
					2021年中間期		2020年中間期
						2020年中間期比	
債	券	関 係	損 益		△ 434	212	△ 646
	売	却	益		494	157	337
	償	還	益		_	$\triangle$ 0	0
	売	却	損		478	123	355
	償	還	損		374	△ 212	586
	償		却		76	35	41
	_						
株	式 等	関係	損 益		19	△ 693	712
	売	却	益	·	471	△ 735	1, 206

450

#### (5) 有価証券の評価損益

#### ① 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入)
子会社株式及び関連会社株式	原価法

#### ② 評価損益

(単位:百万円)

			4	2021年9月末			4	2021年3月末	ŧ	2020年9月末		
1 × 4-1		評価損益					評価損益			評価損益		
	【単体】		2021年3月末比	2020年9月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満	期保有目的	=	=	_	ı					=	=	ı
子	会社・関係会社株式	-	_	_	l	_	-	-	l	-	-	
そ	の他有価証券	39, 918	2, 548	7, 741	44, 079	4, 160	37, 370	44, 093	6, 723	32, 177	36, 286	4, 108
	株式	22, 069	△ 175	7, 854	23, 391	1, 321	22, 244	23, 475	1, 231	14, 215	16, 091	1, 875
	債 券	7,840	1, 337	351	8, 503	663	6, 503	8, 136	1,632	7, 489	9, 064	1,574
	その他	10,008	1, 386	△ 463	12, 184	2, 175	8, 622	12, 481	3, 859	10, 471	11, 131	659
合	<b>1</b>	39, 918	2, 548	7, 741	44, 079	4, 160	37, 370	44, 093	6, 723	32, 177	36, 286	4, 108
	株式	22, 069	△ 175	7, 854	23, 391	1, 321	22, 244	23, 475	1, 231	14, 215	16, 091	1, 875
	債 券	7,840	1, 337	351	8, 503	663	6, 503	8, 136	1,632	7, 489	9, 064	1,574
	その他	10,008	1, 386	△ 463	12, 184	2, 175	8, 622	12, 481	3, 859	10, 471	11, 131	659

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。
  - 2.2021年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、27,744百万円であります。

(単位:百万円)

			:	2021年9月末				2021年3月末	ŧ	2	2020年9月末	ŧ
	【連結】	評価損益					評価損益			評価損益		
			2021年3月末比	2020年9月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満	期保有目的	_	_	_	-	=	_	=	_	=	_	
そ	の他有価証券	40, 928	2, 533	7, 873	45, 088	4, 160	38, 395	45, 119	6, 723	33, 055	37, 164	4, 108
	株式	23, 078	△ 192	7, 985	24, 400	1, 321	23, 270	24, 501	1, 231	15, 093	16, 969	1, 875
	債 券	7, 840	1, 337	351	8, 503	663	6, 503	8, 136	1,632	7, 489	9, 064	1,574
	その他	10,008	1, 386	△ 463	12, 184	2, 175	8, 622	12, 481	3, 859	10, 471	11, 131	659
合	計	40, 928	2, 533	7, 873	45, 088	4, 160	38, 395	45, 119	6, 723	33, 055	37, 164	4, 108
	株式	23, 078	△ 192	7, 985	24, 400	1, 321	23, 270	24, 501	1, 231	15, 093	16, 969	1,875
	債 券	7,840	1, 337	351	8, 503	663	6, 503	8, 136	1,632	7, 489	9, 064	1,574
	その他	10,008	1, 386	△ 463	12, 184	2, 175	8, 622	12, 481	3, 859	10, 471	11, 131	659

<sup>(</sup>注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)連結貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

<sup>2.2021</sup>年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、28,488百万円であります。

#### (6) 自己資本比率(国内基準)

【単体】 (単位:百万円)

		2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
			2021年3月末比	2020年9月末比		
1	自己資本比率(②/③)	8.85 %	0.08%	0.07%	8. 77 %	8.78%
2	自己資本の額	130, 090	2, 329	3, 896	127, 761	126, 194
3	リスク・アセットの額	1, 468, 602	13, 392	32, 407	1, 455, 210	1, 436, 195
4	総所要自己資本額	58, 744	536	1, 297	58, 208	57, 447

<sup>(</sup>注) 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に4%を乗じた額であります。

【連結】 (単位:百万円)

		2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
			2021年3月末比	2020年9月末比		
1	自己資本比率(②/③)	9. 17 %	0.06%	0.06%	9. 11 %	9.11 %
2	自己資本の額	135, 643	2, 195	3, 933	133, 448	131,710
3	リスク・アセットの額	1, 478, 561	13, 728	33, 074	1, 464, 833	1, 445, 487
4	総所要自己資本額	59, 142	549	1, 323	58, 593	57, 819

<sup>(</sup>注) 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に4%を乗じた額であります。

(7) ROE【単体】 (単位:%)

(1) ROB [1]					(112.70)
	2021年中間期			2020年度	2020年中間期
		2020年度比	2020年中間期比		
実質業務純益ベース	6. 29	1.32	2. 15	4. 97	4. 14
業務純益ベース	6. 29	1.44	2. 39	4.85	3. 90
中間(当期)純利益ベース	5. 06	0.51	0.95	4. 55	4. 11

#### (注) 1. (実質)業務純益ベース

 (男質)業務純益

 (期首自己資本+中間期末(期末)自己資本)÷2

 (中間期のみ)

2. 中間(当期)純利益ベース

※ 自己資本=純資産の部合計-新株予約権

#### 2. 貸出金等の状況

## (1) リスク管理債権の状況

#### (部分直接償却実施後)

F 337 71. 3			
【畄休】			

【単	体】				(単	位:百万円)
		2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
			2021年3月末比	2020年9月末比		
IJ	破 綻 先 債 権	164	△ 36	△ 33	200	197
スク	延 滞 債 権	39, 345	1, 973	2, 864	37, 372	36, 481
管	3カ月以上延滞債権	_		-		_
理債	貸出条件緩和債権	4, 839	1, 359	1, 264	3, 480	3, 575
権	合計	44, 349	3, 296	4, 095	41,053	40, 254
貸	出金残高(末残)	1, 877, 929	1, 300	31, 109	1, 876, 629	1,846,820
		-				(単位:%)
貸	破綻先債権	0.00	△ 0.01	△ 0.01	0.01	0. 01
出	延 滞 債 権	2. 09	0. 10	0.12	1.99	1. 97
金残	3カ月以上延滞債権	_		1	ı	_
高	貸出条件緩和債権	0. 25	0.07	0.06	0.18	0. 19
比	合計	2. 36	0.18	0.19	2.18	2. 17

【連結】 (単位:百万円)

					<u> </u>	
		2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
			2021年3月末比	2020年9月末比		
IJ	破 綻 先 債 権	383	△ 49	△ 71	432	454
ス   ク	延滞債権	39, 514	1, 926	2,810	37, 588	36, 704
管	3カ月以上延滞債権	ı	_			_
理債	貸出条件緩和債権	4, 839	1, 359	1, 264	3, 480	3, 575
権	合 計	44, 737	3, 235	4,004	41, 502	40,733

貸	出 金	残高	j (	末残	( )	1, 878, 316	1, 238	31, 017	1, 877, 078	1, 847, 299
						-				(単位:%)
貸	破	綻	先	債	権	0.02	0.00	0.00	0.02	0.02
出	延	滞	,	債	権	2. 10	0. 10	0.12	2.00	1. 98

貸	破綻先債権	0.02	0.00	0.00	0.02	0.02
出	延滞債権	2. 10	0. 10	0. 12	2.00	1. 98
金残	3カ月以上延滞債権	_	_	-	_	_
高	貸出条件緩和債権	0. 25	0.07	0.06	0.18	0. 19
比	合 計	2. 38	0.17	0.18	2.21	2. 20

#### (2) リスク管理債権の保全状況【単体】

(単位:百万円、%)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
リスク管理債権額	44, 349	3, 296	4, 095	41,053	40, 254
貸 倒 引 当 金	7, 701	△ 224	△ 599	7, 925	8,300
担保保証等	28, 863	2, 456	3, 452	26, 407	25, 411
貸倒引当金引当率	17. 36	△ 1.94	△ 3.25	19. 30	20. 61
保 全 率	82. 44	△ 1.18	△ 1.30	83. 62	83. 74

#### (3)貸倒引当金の状況

【単体】 (単位:百万円)

_		• '	. 4							( -	-   <del> </del> -    -    -    -    -    -    -
I							2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
								2021年3月末比	2020年9月末比		
ľ	貨	Ę	倒	引	当	金	12, 930	△ 349	△ 697	13, 279	13, 627
		_	般	貸倒	引当	金 金	5, 605	△ 59	△ 56	5, 664	5, 661
		個	別	貸倒	引当	金金	7, 324	△ 291	△ 641	7, 615	7, 965

【連結】 (単位:百万円)

					2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
						2021年3月末比	2020年9月末比		
鱼	資 倒	引	当	金	13, 564	△ 421	△ 764	13, 985	14, 328
	一般	貸倒	引当	金	5, 741	△ 78	△ 72	5, 819	5, 813
	個 別	貸倒	引当	金金	7, 823	△ 343	△ 692	8, 166	8, 515

(4) 金融再生法開示債権【単体】 (単位:百万円)

	(4) 亚酰行工公历小原作【中件】(单位:目万円)_									
						2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
							2021年3月末比	2020年9月末比		
金	破産勇	更生債権及	びこれ	らに準ず	る債権	3, 205	△ 126	△ 1,029	3, 331	4, 234
融再	危	険		債	権	36, 437	2, 035	3, 834	34, 402	32, 603
生法	要	管	理	債	権	4, 839	1, 359	1, 264	3, 480	3, 575
開	小				計 (A)	44, 483	3, 269	4, 070	41, 214	40, 413
示債	正	常		債	権	1, 873, 996	△ 703	30, 606	1, 874, 699	1, 843, 390
権	合				計	1, 918, 479	2, 565	34, 676	1, 915, 914	1, 883, 803

(単位:%)

										(平位・/0)
						2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
							2021年3月末比	2020年9月末比		
L-H:	破産り	更生債権及	びこれ	らに準す	"る債権	0.16	△ 0.01	△ 0.06	0. 17	0. 22
構	危	険		債	権	1.89	0.10	0. 16	1. 79	1. 73
成	要	管	理	債	権	0. 25	0.07	0.07	0.18	0. 18
比	小				計	2.31	0.16	0. 17	2. 15	2. 14
	正	常		債	権	97. 68	△ 0.16	△ 0.17	97.84	97.85

(5) 金融再生法開示不良債権の保全状況【単体】 (単位・百万円)

_ ( 0	J / 11/	11111 1 T	-1271/11	\1 .   . T	又 I TE V	<i>V</i>   <b>N</b> -	エグルレートチョ	/ <del>+*</del> ]			型に、日カ円)
		•	•	•			2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
								2021年3月末比	2020年9月末比		
保		全		額	(1	B)	36, 696	2, 206	2, 832	34, 490	33, 864
	貸	倒	引	当	金		7, 705	△ 276	△ 652	7, 981	8, 357
	担	保	保	証	等		28, 991	2, 483	3, 485	26, 508	25, 506
	(単位:%)										
4早.		仝		蒸	(B) / (	A )	82 49	∧ 1 10	A 1 30	83 68	83 70

#### 《参考》自己査定・金融再生法開示債権・リスク管理債権の状況【単体】

(単位:百万円)

		-			(単位:百万円)
自己	査 定	金融再生	ī	権	リスク管理債権
債 務 <sup>7</sup> 与 信	者 区 分 残 高	区 分 与信残高(総与信比率) (A)	担保・保証等 引 当 金 保全額合計 (B)	保全率 (B)/(A)	区 分 貸出金残高(貸出金比率)
破綻	先 債 権 164	破産更生債権及び	2, 466		破 綻 先 債 権 164 ( 0.00% )
	淀 先 債 権	これらに準ずる債権 3,205 (0.16%)	739	100.03%	
3, 041			3, 206		
			25, 322		延 滞 債 権 39,345 (2.09%)
	念 先 債 権 5,437	危 険 債 権 36,437 (1.89%)	6, 542	87. 44%	
	,	,	31, 864		
			1, 202		3 カ月以上延滞債権
		要 管 理 債 権 4,839 (0.25%)	423	33. 58%	- ( - ) - 貸出条件緩和債権
	要管理先 債 権 5,998	4, 639 ( 0. 25% )	1, 625		4,839 (0.25%)
要注意先 債 権		[小 計]	28, 991		[合 計]
180, 226		44, 483 ( 2. 31% )	7, 705	82. 49%	44, 349 ( 2. 36% )
		44, 403 ( 2. 31% )	36, 696		44, 349 ( 2. 30% )
	その他 要注意先 債 権 174,228	正 常 債 権 1,873,996			
正 常 ź 1,698					
			]		
	言 残 高 8,479	総 与 信 残 高 1,918,479			貸 出 金 残 高 1,877,929

<sup>(</sup>注)総与信残高には、自行保証付私募債(時価)を含めて記載しております。

#### (6)業種別貸出状況等【単体】

① 業種別貸出金 (単位:百万円)

<b>坐</b> 存山	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
業種別		2021年3月末比	2020年9月末比		
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	1, 877, 929	1, 300	31, 109	1, 876, 629	1, 846, 820
製造業	180, 602	△ 4,100	△ 10,583	184, 702	191, 185
農業、林業	2, 674	416	527	2, 258	2, 147
漁業	2, 398	△ 536	△ 146	2, 934	2, 544
鉱業、採石業、砂利採取業	3, 377	△ 210	△ 76	3, 587	3, 453
建設業	61, 606	571	5, 539	61, 035	56, 067
電気・ガス・熱供給・水道業	51, 763	265	620	51, 498	51, 143
情報通信業	11, 633	△ 1,431	$\triangle$ 1,562	13, 064	13, 195
運輸業、郵便業	56, 027	3, 996	10, 225	52, 031	45, 802
卸売業	90, 284	△ 4,630	△ 1,635	94, 914	91, 919
小売業	104, 756	$\triangle$ 1,542	△ 2,832	106, 298	107, 588
金融業、保険業	31, 464	1,082	△ 121	30, 382	31, 585
不動産業	278, 132	7, 215	13, 150	270, 917	264, 982
物品賃貸業	39, 474	321	△ 30	39, 153	39, 504
学術研究、専門・技術サービス業	8, 051	△ 500	△ 101	8, 551	8, 152
宿泊業	9, 592	△ 329	△ 111	9, 921	9, 703
飲食業	15, 309	△ 337	191	15, 646	15, 118
生活関連サービス業、娯楽業	14, 346	△ 332	233	14, 678	14, 113
教育、学習支援業	7, 867	△ 273	△ 4,617	8, 140	12, 484
医療・福祉	109, 874	△ 1,541	△ 555	111, 415	110, 429
その他のサービス	30, 391	△ 3,484	$\triangle$ 1,579	33, 875	31, 970
地方公共団体	305, 253	△ 5,796	7, 316	311, 049	297, 937
その他	463, 044	12, 475	17, 253	450, 569	445, 791

② 業種別リスク管理債権

()24()	4			-	Ш	١
(単	17.	:	$\Box$	Л	ш	)

光廷川	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
業種別		2021年3月末比	2020年9月末比	1	
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	44, 349	3, 296	4, 095	41, 053	40, 254
製造業	7, 170	776	78	6, 394	7,092
農業、林業	120	△ 5	△ 9	125	129
漁業	223	△ 44	12	267	211
鉱業、採石業、砂利採取業	1, 395	4	32	1, 391	1, 363
建設業	3, 282	201	446	3, 081	2,836
電気・ガス・熱供給・水道業	4	0	0	4	4
情報通信業	451	0	25	451	426
運輸業、郵便業	900	507	481	393	419
卸売業	4, 743	978	643	3, 765	4, 100
小売業	6, 225	△ 213	51	6, 438	6, 174
金融業、保険業	17	△ 13	△ 21	30	38
不動産業	4, 826	△ 187	450	5, 013	4, 376
物品賃貸業	234	$\triangle$ 4	△ 36	238	270
学術研究、専門・技術サービス業	168	14	4	154	164
宿泊業	1, 153	△ 350	△ 374	1, 503	1,527
飲食業	2, 178	426	637	1,752	1, 541
生活関連サービス業、娯楽業	2, 378	271	251	2, 107	2, 127
教育、学習支援業	886	115	279	771	607
医療・福祉	3, 424	40	247	3, 384	3, 177
その他のサービス	1, 654	558	579	1,096	1,075
地方公共団体	_	_	_	_	_
その他	2, 909	223	322	2,686	2, 587

#### ③ 個人ローン残高

(単位:百万円)

	2021年9月末	2021年9月末			2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
住宅ローン	329, 298	3, 258	9,013	326, 040	320, 285
その他ローン	26, 817	△ 451	△ 1,212	27, 268	28, 029
合 計	356, 115	2, 807	7,801	353, 308	348, 314

④ 中小企業等貸出金

(単位:百万円)

_						
		2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
			2021年3月末比	2020年9月末比		
	中小企業等貸出金	1, 346, 134	16, 407	61,074	1, 329, 727	1, 285, 060
	うち中小企業向け貸出金	984, 986	13, 882	53, 511	971, 104	931, 475

#### 3. 預金等・貸出金・預り資産残高

(1)預金等・貸出金の残高【単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
預 金 等 (末残)	2, 990, 219	82, 360	140, 117	2, 907, 859	2, 850, 102
(平残)	3, 010, 835	163, 853	183, 371	2, 846, 982	2, 827, 464
貸出金 (末残)	1, 877, 929	1,300	31, 109	1,876,629	1, 846, 820
(平残)	1, 877, 772	32, 681	42,600	1,845,091	1, 835, 172

(注)預金等=預金+譲渡性預金

#### (2) 個人・法人等別預金残高【単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
個 人 (末残)	1, 889, 499	15, 614	53, 056	1, 873, 885	1, 836, 443
法人等(末残)	1, 028, 066	52, 981	81, 287	975, 085	946, 779
合 計	2, 917, 565	68, 594	134, 343	2, 848, 971	2, 783, 222

(注)譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分は、含んでおりません。

#### (3) 預り資産残高 【単体】

① 総額 (単位:百万円)

		2021年9月末		2021年3月末	2020年9月末	
			2021年3月末比	2020年9月末比		
7	頁り資産残高	252, 461	2, 165	1, 175	250, 296	251, 286
	公 共 債	15, 632	△ 720	△ 735	16, 352	16, 367
	投 資 信 託	60, 188	6, 847	11, 599	53, 341	48, 589
	個人年金保険等	176, 641	△ 3,961	△ 9,688	180, 602	186, 329

② 個人 (単位:百万円)

			•	(+1	<u> </u>					
ĺ						2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
l							2021年3月末比	2020年9月末比		
	佢	国人 預	り資	産産	浅 高	244, 962	2, 031	649	242, 931	244, 313
		公	共	÷	債	10, 965	△ 378	△ 441	11, 343	11, 406
		投	資	信	託	57, 356	6, 370	10, 779	50, 986	46, 577
		個人	、年 金	全保 🖟	食 等	176, 641	△ 3,961	△ 9,688	180, 602	186, 329

#### 4. 通期業績予想

【単体】 (単位:百万円、%)

				2021年度			2020年度
				予想	2020年度比	増減率	実績
経	常	収	益	41, 100	△ 383	△ 0.92	41, 483
経	常	利	益	9, 100	△ 69	△ 0.75	9, 169
当	期約	屯 利	益	6,000	△ 525	△ 8.04	6, 525

【連結】 (単位:百万円、%)

	2021年度			2020年度
	予想	2020年度比	増減率	実績
経 常 収 益	41,000	△ 502	△ 1.20	41, 502
経 常 利 益	9, 300	△ 182	△ 1.91	9, 482
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	6, 100	△ 541	△ 8.14	6, 641

# 株式会社四国銀行

# 2021年度中間決算の概要



# 目次

	単体の数値について																													
	こついては、億円割			_			-					-		示し	ノて	お	り	ます	す。											
説明文	ての増減につきまし	っては、イ	意円未	満をt	刀り指	<b>きて</b>	て記	載し	ノて	おり	)ま	₹ <b></b>	0																	
4	2021左座出	8 <del>4</del> 0+2 <del>**</del> *	<b>₩</b>																											_
Ι.	2021年度中間 資金利益(貸出金	到别担金(	ク城沈	· · · ·		•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	
۷.	算金利益(其出3 ※ATIH (大/==	5利思、	半均线	高人不	可四り	)) = /-	· ·	٠ ،	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	
	資金利益(有価詞	止分利忌	北当金	, <del>\</del>	习残后	5/ 7	门口	(לו	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	j
4.	役務取引等利益 (1)内訳・・・																													,
	(1) 内訳・・・	, <b>, , ,</b>	· · ·	• • ·	• • • + 1 –	•	· ·	_ •	•	•	• •   <del>   } /</del>	• <u>-</u>	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	-
_	(2)個人コンサ	アルナイ.	ンク収	. 金、 次	太人_	」ン	ワル	ケー	イン	<b>ツ</b> 4	X台	ì •	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	/
5.	経費及び経営効率	於・・・ - <i> </i> =	• • •	• • ·	- <del>**</del> =	• ⊟ / <i>7:</i> ↓	• •		•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	2
6.	与信コスト及び与預金等及び個人利	3信コ人	さん アダイ	1月個記	止分区	1分付	貝益	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	
	貸出金残高及び個																													
	有価証券残高・調																													
	自己資本比率・																													
11.	不良債権の状況・	• • • • • <del></del> -	• • •	• •	• • •	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	L
	2021年度業績					•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	L5
13.	中期経営計画の過	基莎状况	(4月	$\sim 9  \mathrm{F}$	月 <i>)</i>	_																								
	戦略目標I	一四銀	人タイ	ル」の	り催い	<u></u> •	• •	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	L 6
	戦略目標Ⅱ	BPR	·IC	丁戦時	谷のガ	地	• •	• ·	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	L
	戦略目標Ⅲ	3 つの	コンサ	ルナー	イング	ノ機能	能の	発揮	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	L &
	戦略目標IV SDGsのI	持続可能	能な財	務基型	・ 経	YE!	<b>基</b> 盤	の位	虹	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	L S
	SDGsの垻	双組み・	• • •	• •		•	• •	• •	•	•	• •	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•			•	• ]	<u> </u>

# 1. 2021年度中間期損益の概況

資金利益、役務取引等利益、その他業務利益がそれぞれ増加し、経費も減少したことにより、実質業務純益は前年同期比19億円増加の48億円、コア業務純益は同17億円増加の 53億円となりました。臨時損益は、不良債権処理額は減少しましたが、償却債権取立益や株式等関係損益の減少等により、前年同期比5億円減少の7億円となりました。 この結果、経常利益は前年同期比15億円増加の55億円、中間純利益は同10億円増加の39億円となりました。

					(百万円)
			2020年度中間期	2021年度中間期	前年同期比
経常	常収益		20,486	20,515	29
業務	務粗利益		14,798	16,267	1,469
=	]ア業務粗利益		15,445	16,702	1,257
	資金利益		13,530	14,117	587 <sup>2</sup>
	役務取引等利益		1,899	2,431	532 ←
	その他業務利益		△ 630	△ 281	349
	国債等債券関係損益		△ 646	△ 434	212
経費		$\triangle$	11,902	11,391	△ 511 🛌
	人件費	$\triangle$	5,667	5,524	△ 143
	物件費	$\triangle$	5,481	5,126	△ 355
	税金	$\triangle$	753	741	△ 12
実質	実質業務純益		2,896	4,876	1,980
=	]ア業務純益		3,543	5,310	1,767
=	]ア業務純益(投資信託解約損益除く)		3,532	4,635	1,103
——舟	2貸倒引当金繰入額	$\triangle$	167	_	△ 167←
業務	<b>務純益</b>		2,728	4,876	2,148
臨時	持損益		1,254	705	△ 549
	不良債権処理額	$\triangle$	434	126	△ 308
	貸倒引当金戻入益		_	117	117
	償却債権取立益		668	199	△ 469
	株式等関係損益		712	19	△ 693
	その他		307	496	189
経常利益			3,983	5,581	1,598
特別損益			91	△ 6	△ 97
	前中間純利益		4,074	5,575	1,501
法人	、税等	$\triangle$	1,197	1,650	453
中間純利益			2,877	3,924	1,047

資金運用収益(主として有価証券利息配当金)が増加し、 資金調達費用(主として外貨調達費用)が減少しました。

お客さまのニーズに応えるコンサルティング活動に努め ました結果、コンサルティング収益は、個人・法人とも に増加しました。

業務の見直しと効率化を推し進めました結果、人件費・ 物件費がそれぞれ減少しました。

与信費用、実質与信関係費用とも減少しました。

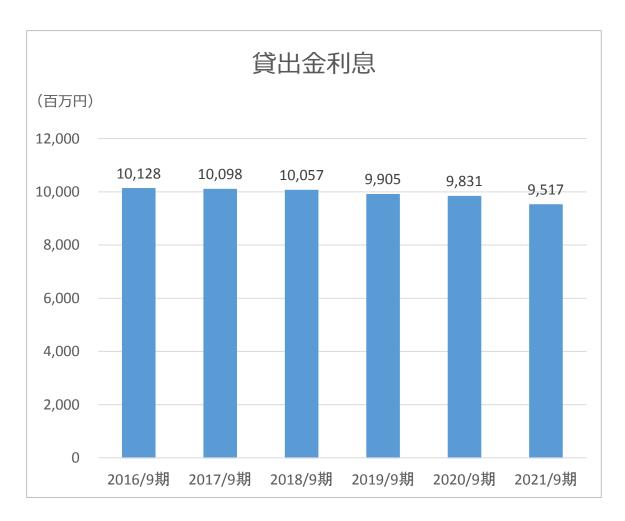
株式等売却益の減少により、株式等関係損益は減少しま した。

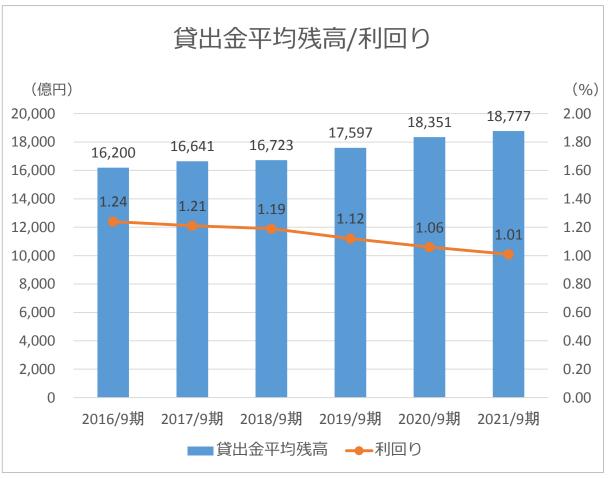
中間純利益は上記要因により、10億円増加しました。

(株)四国銀行(8387)2022年3月期第2四半期(中間期)決算短信 3

# 2. 資金利益(貸出金利息、平均残高/利回り)

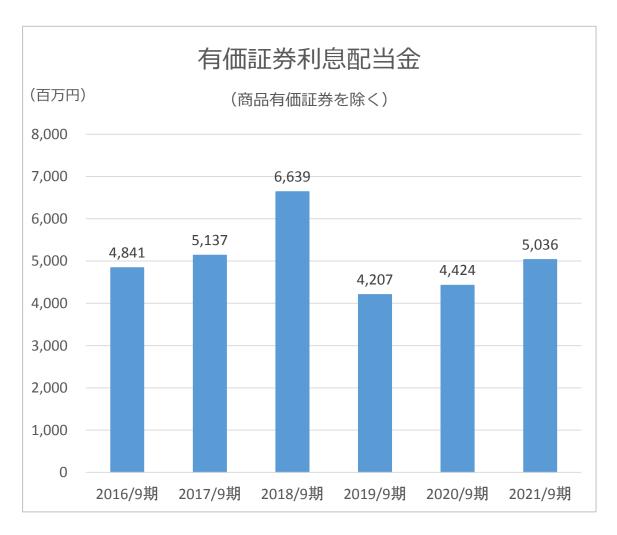
事業性評価を軸としたコンサルティング活動を推進したことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大により事業に影響を受けられたお客さまに対する資金繰り支援に 継続して取り組んだ結果、貸出金平均残高は増加しましたが、貸出金利回りの低下が続き、貸出金利息は前年同期比3億円減少の95億円となりました。





# 3. 資金利益(有価証券利息配当金、平均残高/利回り)

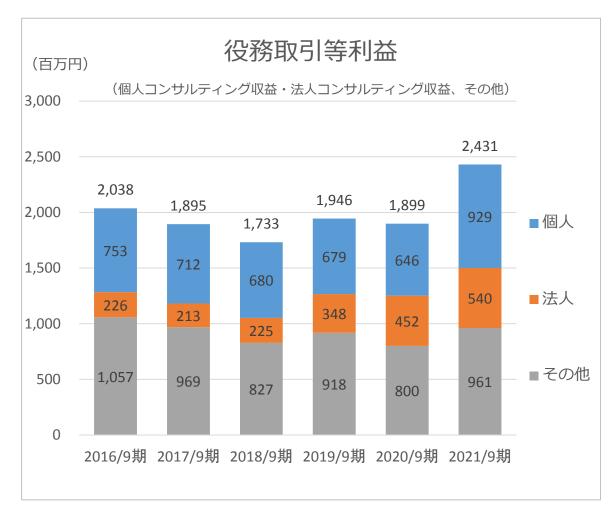
マイナス金利政策の継続に加え、世界的に低金利傾向が続く厳しい投資環境のなか、運用強化に努めた結果、有価証券利息配当金は前年同期比6億円増加の 50億円となりました。

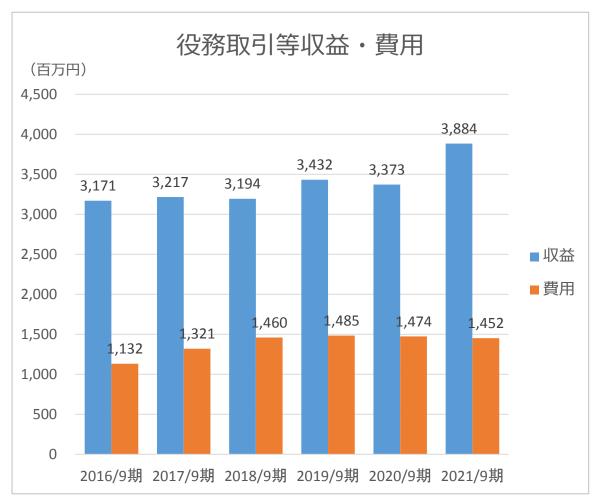




# 4. 役務取引等利益(1)内訳

お客さまのニーズに応えるコンサルティング活動に努めた結果、個人コンサルティング収益と法人コンサルティング収益が共に増加し、前年同期比5億円増加の24億 円となりました。

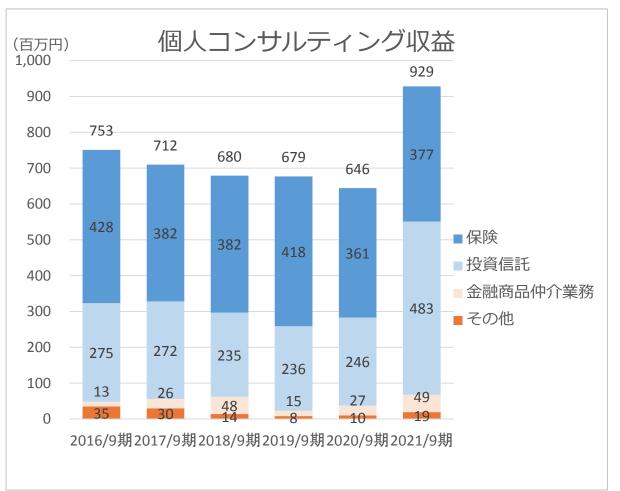




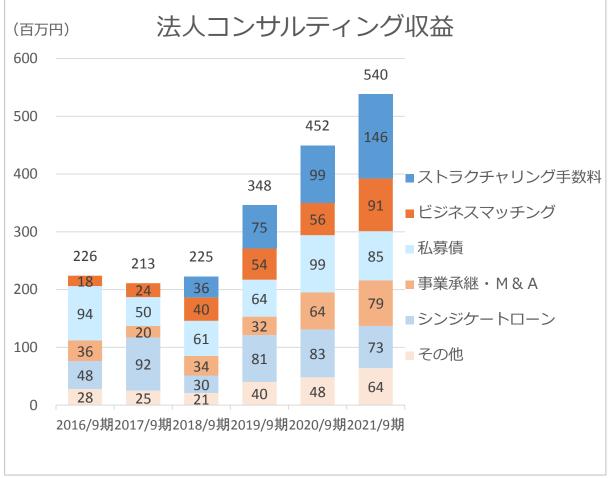
(注)管理会計ベース

# 4. 役務取引等利益(2)個人コンサルティング収益、法人コンサルティング収益

お客さまの資産形成ニーズに合わせた幅広い提案に努めた結果、投資信託をはじ め、全ての項目が増加し、前年同期比2億円増加の9億円となりました。



多様な資金調達ニーズに対応したスキームの構築や、事業承継・M&Aニーズへの 積極的な取組み等により、前年同期比0億円(88百万円)増加の5億円となりま した。

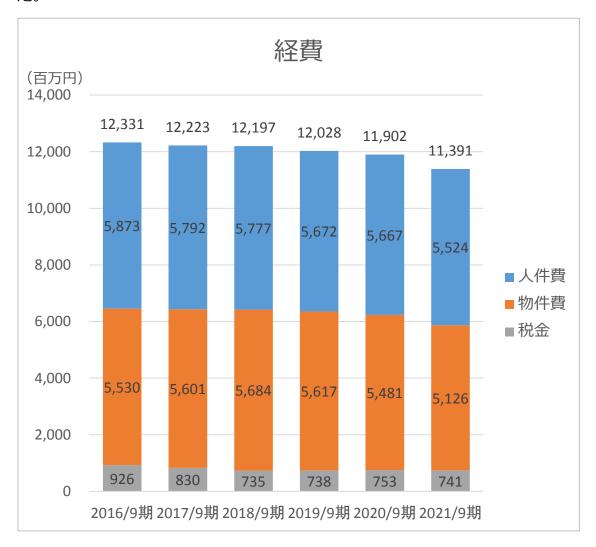


(注)管理会計ベース

(株)四国銀行(8387)2022年3月期第2四半期(中間期)決算短信 7

## 5. 経費及び経営効率

BPR・ICT戦略に基づき業務の見直しと効率化を推し進めた結果、人件費・ 物件費がそれぞれ減少し、経費は前年同期比5億円減少の113億円となりまし た。



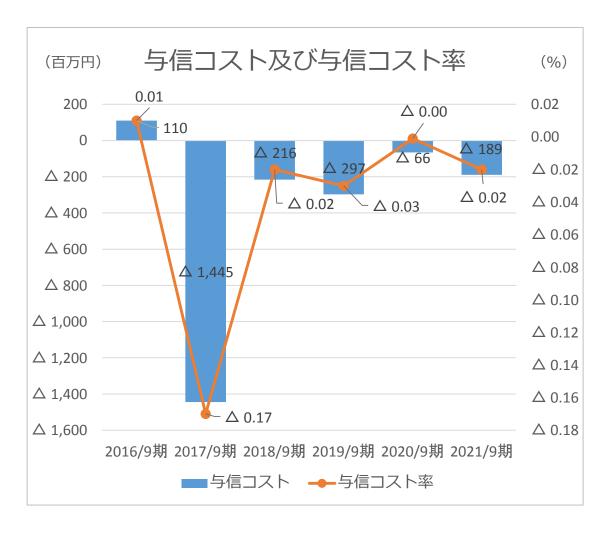
OHRは、コア業務粗利益の増加と経費の減少により、前年同期比8.8%ポイ ント低下し、68.2%となりました。また、期末総人員は前年同期末比55人 減少の1,324人となりました。





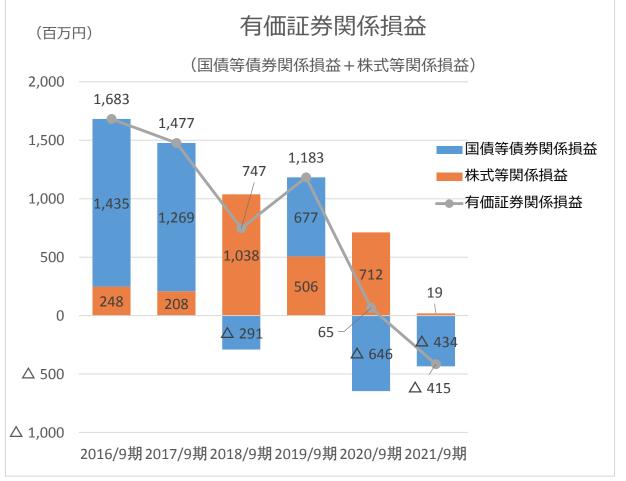
# 6. 与信コスト及び与信コスト率、有価証券関係損益

与信コスト(=実質与信関係費用)は、近年、低位安定してマイナスが継続 しているなか、当期も1億円のマイナスとなりました。与信コスト率につき ましても△0.02%となりました。



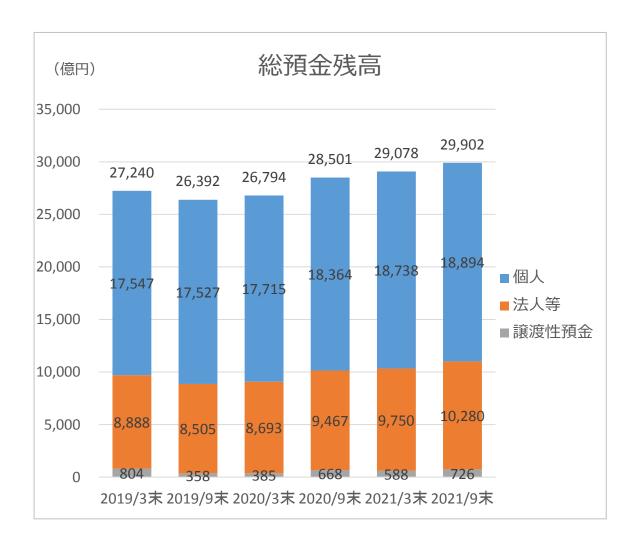
国債等債券関係損益は2億円改善しましたが、株式等関係損益が6億円減少し、 有価証券関係損益は前年同期比4億円減少の4億円の損失となりました。

- \*国債等債券関係損益=売却益+償還益-売却損-償還損-償却
- \*株式等関係損益=売却益-売却損-償却



### 7. 預金等及び個人預り資産残高

個人預金、法人等預金及び譲渡性預金がそれぞれ増加し、預金等(譲渡性預金を含む)は前年同期末比1,401億円増加の2兆9,902億円となりました。 前年度末比では824億円増加しております。



お客さまに寄り添った個人コンサルティング活動を行った結果、 投資信託の増加により、個人預り資産残高は前年同期末比10億円増加の 2,339億円となりました。前年度末比では24億円増加しております。



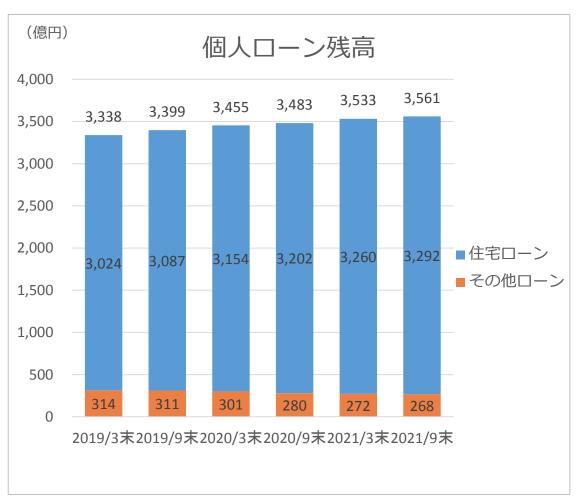
(株)四国銀行(8387)2022年3月期第2四半期(中間期)決算短信10

## 8. 貸出金残高及び個人ローン残高

貸出金は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う資金繰り支援に積極的に対応した結果、中小企業向けの増加等により、前年同期末比311億円増加の 1兆8,779億円となりました。前年度末比では13億円増加しております。

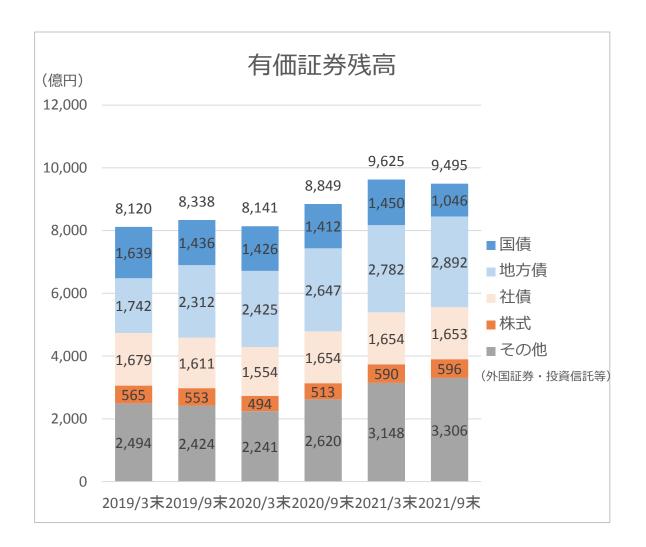
個人ローンは、ローンプラザを中心に推進したことで住宅ローンが増加し、前年同期末比78億円増加の3,561億円となりました。前年度末比では28億円増加して おります。



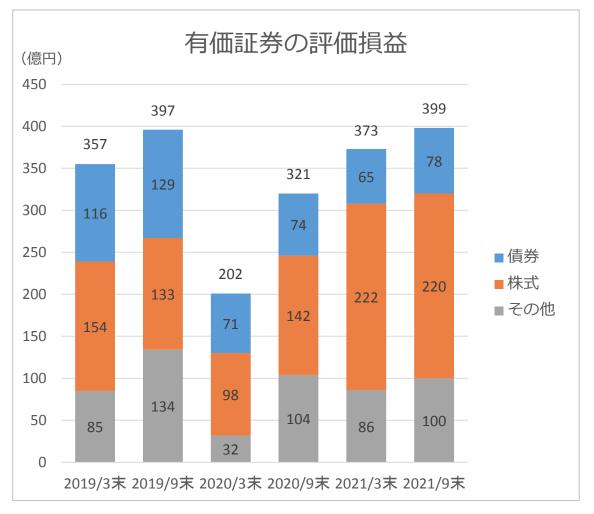


### 有価証券残高・評価損益

投資信託等を中心に運用を強化した結果、前年同期末比646億円増加の 9,495億円となりました。前年度末比では130億円減少しております。

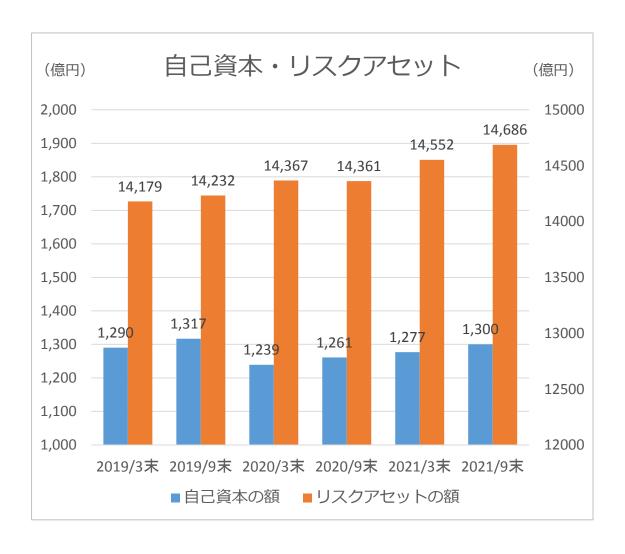


債券・株式の評価益が共に増加し、前年同期末比78億円増加の399億円となり ました。前年度末比では26億円増加しております。

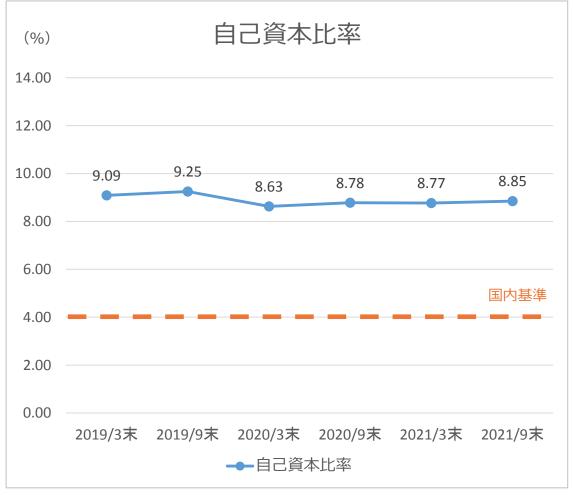


### 10. 自己資本比率

自己資本の額は、中間純利益の内部留保等により、前年度末比23億円増加の 1,300億円となりました。また、リスクアセットの額は、貸出金の残高増加 に伴い、前年度末比134億円増加の1兆4,686億円となりました。



自己資本比率は、左記要因により、前年度末比0.08ポイントト昇し8.85% となりました。国内基準行に求められる4%以上の基準を大きく上回ってお ります。

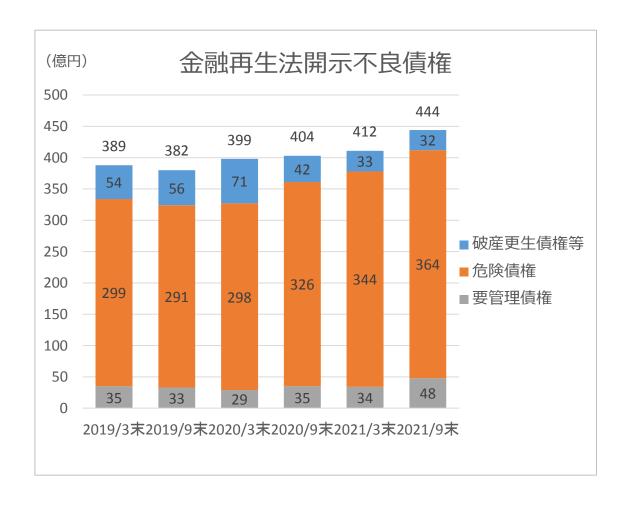


(株)四国銀行(8387)2022年3月期第2四半期(中間期)決算短信 13

### 11. 不良債権の状況

金融再生法に基づく開示不良債権の総額は、経営改善等中小企業金融の円滑 化に取り組むなか、債務者区分の見直しもあり、前年度末比32億円増加の 444億円となりました。

\*不良債権総額=破産更生債権及びこれらに準ずる債権+危険債権+要管理債権



金融再生法開示不良債権比率は、開示不良債権額が増加し、前年度末比 0.16ポイントト昇の2.31%となりました。また、不良債権が貸倒引当金や 担保・保証によりカバーされている割合を表す保全率は、前年度末比1.2ポ イント低下し82.4%となりましたが、引き続き十分な水準を確保しており ます。



# 12. 2021年度業績予想

単体の2021年度通期業績につきましては、当中間期の業績等を踏まえ当初予想を上方修正し、経常収益411億円、経常利益91億円、当期純利益60億円を予想して おります。

(単位:億円)

	当初予想	修正予想	増減
経常収益	387	411	24
業務粗利益	303	316	13
資金利益	261	274	13
役務取引等利益	44	46	2
その他業務利益	△ 1	△ 4	△ 3
(うち国債等債券関係損益)	△ 1	△ 6	△ 5
経費	230	228	△ 2
実質業務純益	72	88	16
実質与信関係費用	9	14	5
経常利益	78	91	13
当期純利益	50	60	10

### 13. 中期経営計画の進捗状況(4月~9月) 戦略目標 I 「四銀スタイル」の確立

- 当行の特長である「Just Like Family!な人財力」をベースに、お客さまに対して高度なコンサルティング機能を提供できる人財を開発・育成、 「四銀スタイル」の確立につなげています。
- 従業者が健康で、やりがい・働きがいの持てる働き方の実現に向けて取り組んでいます。

### 人財開発・育成の強化

- □ 新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、オンラインと対面を効果的に組み合わせた新しい形式の研修に取り組んでいます。
- □ また、四銀スタイルを実践し、コンサルティングカを発揮するため、一人 ひとりが主体的にスキルアップに取り組んでいます。

#### <公募研修応募・休日講座受講状況(4月~9月)>



#### 健康経営と新たな働き方の実現

□ 女性活躍や仕事と家庭の両立支援に対する 取組みが評価され、高知県など全国18県の 知事が加盟する「日本創生のための将来世 代応援知事同盟」による「優秀将来世代応 援企業賞」を受賞しました。



#### <評価された主な取組み>

- ・女性活躍推進員会「Cheer!」による産休・育児休暇中の女性従業者に対する復職支援。
- ・「仕事と子育て両立パパ宣言」による男性の育休取得促進。
- ・新任者講座での「イクボス講義」の実施、「イクボスセミナー」のオンライン開催。
- ・従業者の子どもが小学校3年生修了まで利用できる短時間勤務制度の充実。
- ・在宅勤務の試行、時差勤務の要件拡大。



### 13. 中期経営計画の進捗状況(4月~9月) 戦略目標II BPR・ICT戦略の加速

- 業務を徹底的に見直し、効率化することで、生産性向上を図るとともに、働きやすい環境の実現に向けて取り組んでいます。
- 様々なチャネルを通じて、お客さまの利便性向上や質の高いサービス提供に向けて取り組んでいます。

#### BPR戦略の加速

□ 銀行全体の事務量削減とお客さ まの利便性向上にもつなげるた め、法人・個人事業主のお客さ ま向けのインターネットバンキ ング「ビジネスダイレクト」を 推進し、契約件数は着実に増加 しました。

□ クイック窓口導入店舗の拡大 や、営業店の事務を集中処理す る「業務サポートオフィス」の 受入店舗の拡大、さらにイン ターネットバンキングの推進等 により事務量の削減が進んでい ます。



### ICT戦略の加速

- ご来店いただいたお客さまに より良い「おもてなし・コンサ ルティング」を提供すべく、タ ブレット端末での口座開設や住 所変更などを可能とする新シス テム「Smile」を導入しまし た。
- ダイレクトチャネルの強化に 取り組むなか、2021年9月末 の当行アプリ利用者数は、 2021年3月末比+5,928件の 45,541件となりました。





※BPR (Business Process Re-engineering):現状の業務プロセスを改善し、業務効率を向上させることで、生産性向上を図る。

※ICT(Information and Communication Technology):情報通信(伝達)技術。

# 13. 中期経営計画の進捗状況(4月~9月) 戦略目標Ⅲ3つのコンサルティング機能の発揮

ビジネス・個人・地域の3つのコンサルティング機能を発揮し、企業の夢や課題解決の"実現"、ゆたかで便利なくらしの"実現"、 活力にあふれた地域の"実現"という、「3つの実現」に向けて取り組んでいます。

### ビジネスコンサルティング・個人コンサルティング・地域コンサルティング

□ お客さまの経営課題解決や成長・発展に向け、事業承継・M&Aや ビジネスマッチングに取り組んでいます。





□ 環境の変化に応じたお客さまの幅広いニーズにお応えするため、 コンサルティング業務の拡大に取り組みました。

#### 人材紹介業への参入 クラウドファクタリングの取扱開始 お客さまのニーズに応じて「経営幹 ウィズコロナ時代における新しい資金 部人材」「専門人材」等の確保をサ 調達手段として、お客さまに、短期・ 少額の運転資金を、迅速かつ感染リス ポートすることで、お客さまの事業 成長や経営課題解決を支援 クを抑制しながら提供

- □ コンサルティング機能の高度化を進めています。
  - 2021年9月、高知県下を中心としたお客さまに対して、より高度な 金融サービスやソリューションの提供に向けた新たな協業体制を進 めるため、大和証券と包括的業務提携に関する基本合意書を締結し ました。
  - 人生百年時代を迎えて資産形成・資産管理に対する重要性が高まる 中、地域のお客さまが豊かな暮らしを実現するためにも、こうした コンサルティング機能の高度化により、幅広いニーズにお応えして いきます。
- □ Shikokuブランド(※)を通じた四国資源の付加価値向上に 取り組みました。
  - 高知県本山町出身の作家の文学館「大原 富江文学館」が開館30周年を迎えるにあ たり、地域活性化の取組みとして新コン セプトでリニューアルしました。
  - より多くの人にその魅力を発信するた め、新しいグッズを企画・制作しまし
    - (※) Shikokuブランド株式会社
      - 阿波銀行・百十四銀行・伊予銀行・四国銀行の包括的な提携 「四国アライアンス」の一環として設立した地域商社



# 13. 中期経営計画の進捗状況(4月~9月) 戦略目標Ⅳ 持続可能な財務基盤・経営基盤の確立

- 中間期の業績を踏まえ、通期業績予想は、当期純利益ベースで60億円に上方修正しております。
- コンサルティング機能の発揮を通じて、事業所融資先数や事業承継・M&A支援件数等は順調に推移しております。

### 財務目標(単体ベース、2021年度)

項目	2021年度通期目標	(ご参考)
当期純利益	50億円以上	中間期 39億円
自己資本比率	8%台後半	中間期 8.85%
ROE(株主資本ベース)	4%以上	中間期 6.3%
OHR(コア業務粗利益ベース)	75%以下	中間期 68.2%

### コンサルティング機能の発揮に向けた指標(中期経営計画後半の2年間)

項目	2022年度までの目標		2021年9月末実績
事業所融資先数	2022年度末	12,200先以上	12,049先
事業承継・M&A支援件数	2021年度~2022年度	4,400件以上	1,191件
ビジネスマッチング成約件数	2021年度~2022年度	2,100件以上	822件
積立投信契約先数・月間掛込額	2022年度末	12,500先 3億50百万円以上	11,056先 2億65百万円
預り資産残高 (投信+保険+金融商品仲介)	2022年度末	2,550億円以上	2,450億円
非金利収益比率※1	2022年度	15%以上	15.1%

### 13. 中期経営計画の進捗状況(4月~9月) SDGsの取組み

#### 主な取組内容

- 「四国銀行 SDGs宣言」に基づき、多様な取組みを進めています。
- 1. 地域経済・地域社会への貢献
  - 「四国銀行クラウドファクタリング powered by OLTA」の取扱開始。
  - 「<Webセミナー> 社会性と経済性を追求したSDGsビジネスモデル 構築のポイント」の開催。
  - 人材紹介業への参入。
- 2. ゆたかで便利なくらしの実現
  - 「四銀ルーム」による子ども向け金融教育特集(お金のセミナー代替企画)。
  - タブレット端末によるご来店時お手続きの電子化「Smile」の全店導入。
- 3. 多様性の確保
  - 「優秀将来世代応援企業賞」受賞。
  - 女性活躍推進法に基づく行動計画の策定。 (2021年4月1日~2026年3月31日)
- 4. 環境への配慮
  - 「地域ESG融資促進利子補給制度 | の取扱開始。
  - 「TCFD」提言への賛同表明(詳細右記)。

- □ 「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース) | 提言への替同を表明
  - 賛同表明日:2021年9月10日
  - 近年、地球温暖化により、異常気象や自然災害は年々頻発化・激甚 化し、わたしたちの日常社会はもちろん、お客さまや当行の事業環 境に与える影響も大きくなっています。
  - そうした状況を鑑み、気候変動にかかるリスクや機会が当行の経営 に与える影響を的確に把握し、必要な対策を講じていくことが重要 であるとの判断から、TCFD提言に賛同しました。
  - 今後、同提言に沿った情報開示に努めるとともに、低炭素社会に向 けた各種取組みを進めていきます。

#### ※TCFDとは

- Task Force on Climate-related Financial Disclosuresの略。
- 主要国の中央銀行総裁および財務大臣からなる金融安定理事会 (FSB) の作業部会。
- 投資家に適切な投資判断を促すための、効果的な気候関連財務情報 開示を企業へ促している。